

1. 「行きたくてたまらない」学校とは

(1) 職員

- ・明るく、笑顔がいっぱいの職員室。安心できるほっとする職員室。
- ・何でも気軽に話せる人間関係。
- ・困ったときは助け合う、支え合う。(チーム庄のメンバーで児童を育てる)
- ・やりがいがあり達成感を味わえる。

同僚性が豊かな教師集団

(2) 児童

- ・ **みんなが楽しく** 笑顔ですごせる学校・ **みんなが仲良く** 思いやりがある学校
学習が分かる・できる楽しさ。みんなで学ぶ楽しさを感じられる。
運動や遊びを通して友達と関わる楽しさを感じられる。
ほめられる・認められる喜びを感じられる。
友だちに声をかける、あいさつをする。ハッピーボイスシャワーがいっぱい。
けんかをしても仲直りできる。
- ・ **みんな**で助け合いながら がんばる 学校
友だちと互いに学び合う。がんばった達成感を味わえる。
目標に向かって、最後まで努力する。

あなたもわたしも、**みんな**が行きたくなる学級・学校を **自分から**つくる

2. 「行きたくてたまらない学校」をつくるために

(1) 学力づくり部・・・よく考える子の育成

- ・ 教師の授業力を高める
庄小スタンダードの定着を図る。
児童が主体的に学び、つけたい力が身につくような授業改善を行う。
外部講師を招聘し、研修や授業研究を積極的に行う。

(2) 心づくり部・・・人も自分も大切にすることの育成

- ・ 「あいさつ運動」を通して、お互いが気持ちよく学校生活をスタートする。
- ・ 縦割り活動を通して、尊敬や感謝の気持ちを育む。
- ・ ミニクラブを通して、異学年と交流を図ったり、心地よい居場所を作ったりする。
- ・ ハッピーボイスシャワーや「良いところみつけ」を通して、温かい人間関係を築く。
- ・ いじめに関する調査を実施し、安心して過ごせる学校や学級づくりに取り組む。
- ・ SC や SSW、児童相談所などの外部機関とも連携し、すべての児童が落ち着いて学校生活を送れるようにする。

(3) 体づくり部・・・自分に負けない子の育成

- ・ 児童が楽しんで取り組めるような「体づくりタイム」を実施する。
- ・ 「マラソン大会」や「なわとび大会」などを通して、体と心を鍛える。
- ・ コーディネーショントレーニングを取り入れ、運動能力の基礎を養う。
- ・ 家庭と連携し、早寝早起き、正しい姿勢の取組を推進する。